

## 芸能・テレビ



### 「お菓子放浪記」全3部 ミュージカルで公演

## 戦争孤児と人々の愛情描く

作家・西村滋さん(89)の自伝的小説『お菓子放浪記』3部作が、ミュージカル「お菓子放浪記」(チーム・クレセント公演、写真)になりました。小説(続編)は、「しんぶん赤旗」日曜版で連載されました。

性教師や戦争孤児と出会って愛情を知った孤児シゲルが、東京大空襲や戦後の困窮をたくましく生き抜き、人を幸せにするお菓子のよきな人間になろうと成長する感動作です。

企画・制作した俳優の片山美穂さんは7年前に原作を読み感動。ドラマ、映画化された、戦中が中心の第1部に加え、戦後を含めた長大な全3部の舞台化を考えました。

「西村先生は、戦争孤児の思いを伝える生き証人として作家になろうと決意されたそうです。その思いを伝えたい。いま戦前のような空気が漂う中、シゲルの模索を通して、本

当の目と心で世の中を見る生き方を問いかけたいと思います」(片山さん)

脚色・演出は、ミュージカル「はだしのゲン」脚本・演出の木島恭さん。

\*10月2～3日＝  
東京・カメリアホール。静岡、愛知・小牧、名古屋を巡演。  
☎070 (6470) 0384